

※実務経験のある教員による授業科目

授業概要

現代社会には様々な業種・職種があるが、データベースを利用していない所はほぼ皆無といっても過言ではない。身近なデータベースとして、Google 検索エンジン、Wikipedia、辞書、WEB ショッピングの商品データベース、図書館 OPAC、アドレス帳、スケジュール管理データベース、電子カルテなど、様々挙げられる。ここまで普及しているデータベースを理解することは非常に重要であり有用である。

公的試験研究機関での中小企業向け生産管理システム開発研究に従事、民間企業の情報システム開発責任者として現在も活動している実務経験に基づいて、企業活動で求められるデータベース設計やデータベースの取り扱い方について詳しく講義する。

この授業ではデータベースの基本概念から設計、運用に至るまでの基本的な知識について講義する。また Microsoft Access を用いて具体的なデータベースの構築方法を指導する。さらに、企業から求められる資格として MOS Access への注目度が高いことを伝え、MOS (Microsoft Office Specialist) Access 2019 に合格することを目的とし、試験対策用教材の練習問題を指導する。

授業計画

第 1 回	ガイダンス、データベースとは、MOS Access 2019 について
第 2 回	データベースの作成と管理 (1) 企業活動で求められるデータベースの管理について
第 3 回	データベースの作成と管理 (2) データベースの管理の確認問題演習
第 4 回	テーブルの作成 (1) テーブルを作成する・管理する
第 5 回	テーブルの作成 (2) テーブルを編集する
第 6 回	テーブルの作成 (3) テーブルの確認問題演習
第 7 回	クエリの作成 (1) クエリを作成する
第 8 回	クエリの作成 (2) クエリを変更する
第 9 回	クエリの作成 (3) クエリの確認問題演習
第 10 回	フォーム作成 (1) フォームを作成する
第 11 回	フォーム作成 (2) フォームを編集する
第 12 回	フォーム作成 (3) フォームの確認問題演習・レポートの作成 (1) レポートを作成する
第 13 回	レポートの作成 (2) レポートを編集する
第 14 回	レポートの作成 (3) レポートの確認問題演習
第 15 回	まとめ MOS Access 2019 模擬試験
第 16 回	定期試験

到達目標

1. 関係データベースの基本概念、設計、運用の基礎的知識を習得できる。
2. 企業情報システムの中核であるデータベースの概念とその役割を理解し、データがどのように管理され利用されるのか実例にもとづいて理解できる。
3. Microsoft Access の基本操作を習得できる。

履修上の注意

USB 持参と全ての講義に出席することが前提です。初めての DB 操作から徐々に高度な作業へと移行していくので、真剣な学習態度が求められます。授業の大半はパソコンを利用した実習形式になります。学習したことを確認するために、毎回の授業最後に、演習による成果をメールで提出してもらいます。欠席が続くと授業に追いつくのが困難になります。授業開始前にパソコンを起動しておくこと。学生の理解度や関心度に合わせて、授業計画を一部変更する場合があります。

予習・復習

各講義の内容は、事前に専用サイトで配信するので、授業前に確認し、予習しておくこと。状況に応じて、適宜課題を課すので、授業で説明された内容の復習を行うこと。授業時に作成したファイルを見直し、理解を深めること。教員の手助けによってできた部分は、自分 1 人の力でできるようにしておくこと。

評価方法

- ① 授業演習 (30%) ② 課題レポート (30%) ③ 定期試験 (40%)

テキスト

- ・教科書名：よくわかるマスター MOS Access 365&2019 Expert 対策テキスト&問題集
- ・著者名：FOM 出版
- ・出版社名：富士通エフ・オー・エム株式会社
- ・出版年 (ISBN)：978-4-938927-32-5